

一般財団法人  
全国大学実務教育協会

# 会報

May 2016  
第15号

## CONTENTS

|                      |    |
|----------------------|----|
| 中期視点に立つ大学の人材育成 ..... | 02 |
| 協会の動き .....          | 03 |
| 実務教育の現場から .....      | 05 |
| 協会からのお知らせ .....      | 06 |

# 中期視点に立つ 大学の 人材育成

 **全国大学実務教育協会**  
Japan Association of University and College for Business Education

〒102-0074 東京都千代田区九段南4-2-12  
第三東郷パークビル二階  
TEL:03-5226-7288 FAX:03-3263-8633  
E-mail:jaucd@jaucd.gr.jp  
URL:<http://www.jaucd.gr.jp>

# 中期視点に立つ大学の人材育成



一般財団法人全国大学実務教育協会 会長

森脇 道子

## 本協会の中期視点に立つ新しい事業

本協会では、中長期視点に立つ新たな事業として「能動的学修をリードする教員養成講座(基礎編)」と「能動的学修の教員研究会(応用編)」の実施、「協会資格のルーブリックによる質保証制度」の導入、「地域で働く卒業生等社会人の実践就業力向上の教育プログラム推進」の支援、「産官学の対話による次世代の大学人材育成問題交流会」の実施に取り組んでいます。それぞれの事業の背景には、大学・短期大学(以下大学)の会員校から寄せられる様々なご意見や要請、中央教育審議会等の議論があります。が、事業の最も原動力になっているのは、本協会の提言する「実務教育」が、激しい変化の時代にあって、大学が担う人材育成に役立ちたいという気持ちであります。

## 近年の大学教育政策と大学

大学における人材育成を成就させるため、学生の学びを活性化させ、学修成果を高める大学教育の質的転換が強く要請されています。すなわち知識の伝授注入を中心とした従来型の受け身の学修から、学生が主体性をもって多様な人々と問題を発見し解を見いだしていく能動的学修(アクティブラーニング)へと質的転換をすることが喫緊の課題となっています。さらに「学生が何を身につけたか」が重視され、学生の学修成果の把握・評価の取組を推進させることが求められており、それには大学の目的・目標・育成する人材のもと学位授与の方針の明確な設定、実現するための教育課程編成・実施の方針の設定と教育課程の体系的編成、多様な学生を適切に受け入れるための入学受け入れの方針の具体的な策定が必要であり、この3つの方針(ポリシー)の一体的策定が急がれています。

いずれの施策についても、比較的早く外形的整備は進むと思いますが、問題は教育の質的転換の成果がどのように結実するかです。必要以上の政策介入がなされなければ、数年後には各大学の人材育成に独自性が徐々に出て活性化していくと確信しています。

## 教育現場が変われば学生も変わる

さて今、改善課題に取り組んでいる多くの教育現場では、教育の質的転換に対する理解の程度や考え方がまちまちだろうと思われれますので、当面は、変化に伴う痛み、葛藤、あきらめの感情を抱くことも多いかもしれません。しかし、大学教育の現場が、これまでの希薄な関係から、ぶつかり合いながらも相手の存在を思いやっして議論が深められる関係へと変わっていくと、そこには教育に関する創造活動が活発になるなど、教育文化の変化の兆しが現れま

す。すると、学生も変わり始めます。しかし、それぞれの大学には、これまでに築いてきた教育文化がありますから、徒に実現を急ぎすぎないことが肝要です。PDCAサイクルを底流に置きつつも、お互いの気づきを大切にして交わされる討議プロセスを大事にすることです。さもないと自校の教育文化の壁に阻まれ、改革が停滞してしまう可能性があります。この点は、前述の政策介入のあり方についても同様のことが言えそうだと思います。

紙面の都合でここでは触れられませんが、大学教育の質的転換には、大学全体をリードするトップのガバナンス力に関心が集まっていますが、これからは現場のメンバーとともに、変革課題を推進できる現場リーダーの存在が注目されるようになるだろうと思います。

## 大学の実務教育と人材育成

働く現場で、人が仕事を成しとげていく実践活動が「実務」であります。今、働く現場が常に変化しており、これまでにない新たな問題が起き、複雑な様相を呈していますので、実務を担うには、専門領域の知識・技能に止まらず、持てる力を総動員してやり抜く総合的能力、つまり活動プロセスから発生する諸課題に対応する力、活動そのものを高める力が一層求められます。これから職業につく人にも、すでに働いている人にも、変化に対応できる課題実践力が職業能力の基盤として必要になっているのです。

しかし、「実務」は、これまで大学教育の現場で必ずしも重要視されてきませんでしたし、そればかりか実際の働く現場でもやれてあたりまえと見なされてきました。今でも実務教育を特別視しなくても専門教育や教養教育を通してできるという大学人もいます。しかし、本協会では以前から、教養・専門教育と調和した実務教育の実現に向けて、実務の資格教育課程を提案してきました。

実務教育とは、その基軸を「総合的課題実践力」「学びの継続力」におき、以って職業能力の基盤を有する人材育成を目指しています。実務教育実践においては、学生が自らの活動体験をそのままに終わらせないで、失敗しても、成功しても体験から課題を見つけることを学修のスタートとして、気づいた課題を多面的に追求し、解決に向けて考え、それを人への心配りをして行動できる態度形成を重視しています。ですから本協会の多くの資格教育課程には、「総合的課題実践」「学びの継続」を中核に位置づけています。

翻って、学生時代には実務の体験学修ができる機会が豊富にあります。しかし学生が正しい考えをもって、自発的に取り組めるようになるまでには、相応の実務教育プログラムと教育支援者が必要だと考えています。これからも実務教育の課題に取り組んで参りますので、ご理解とご支援をお願い致します。

## 1 平成27年度資格認定証授与数

平成27年度資格認定証授与数は9,880件で、その内訳は大学2,858件、短期大学7,022件、資格認定証授与数の総数は600,792件となりました。

平成27年度の資格認定証授与数の多い資格は次のとおりです。

|                     |         |                        |       |
|---------------------|---------|------------------------|-------|
| ① 情報処理士             | 1,328 件 | ⑥ 秘書士 <sup>®</sup>     | 458 件 |
| ② ビジネス実務士           | 1,106 件 | ⑦ ウェブデザイン実務士           | 457 件 |
| ③ 上級情報処理士           | 975 件   | ⑧ プレゼンテーション実務士         | 428 件 |
| ④ 秘書士               | 634 件   | ⑨ ビジネス実務士 <sup>®</sup> | 427 件 |
| ⑤ 情報処理 <sup>®</sup> | 480 件   | ⑩ 上級情報処理士 <sup>®</sup> | 390 件 |

## 2 平成27年度 会長賞授与数

優れた成績で資格を取得した学生を顕彰するための会長賞は、63校から104名に授与しました。平成6年度の制度開始からの延人数は3,811名になりました。

## 3 平成27年度実務教育優秀教員被表彰者

去る平成27年11月15日から12月15日の期間に会員校に推薦をご依頼した「実務教育優秀教員」について、以下の7名が平成28年3月31日付で表彰されました。

| 大学名       | 氏名    | 所属                  |
|-----------|-------|---------------------|
| 札幌国際大学    | 三宅 浩子 | 人文学部心理学科<br>こども心理専攻 |
| 筑波学院大学    | 山島 一浩 | 経営情報学部              |
| 十文字学園女子大学 | 田倉 昭  | 人間生活学部              |

| 短期大学名       | 氏名     | 所属                     |
|-------------|--------|------------------------|
| 福島学院大学短期大学部 | 木村 信綱  | 情報ビジネス科                |
| 大阪青山大学短期大学部 | 中尾 かつ江 | 保育科                    |
| 鳥取短期大学      | 野津 和功  | 生活学科<br>情報・経営専攻        |
| 長崎女子短期大学    | 江頭 万里子 | 生活創造学科ビジネス・<br>医療秘書コース |

※大学名、所属、職名は平成28年3月31日現在である。(敬称略)

## 4 平成28年度新規入会校

平成28年度からの新規入会校は次の7校です。

| 大学名         | 所在地         | 学長     | 申請資格  |
|-------------|-------------|--------|---|
| 札幌大谷大学      | 北海道札幌市東区    | 巖城 孝憲  | 社会調査実務士<br>社会調査アシスタント   |
| 北海道文教大学     | 北海道恵庭市      | 鈴木 武夫  | 観光ビジネス実務士   |
| 愛知東邦大学      | 愛知県名古屋市名東区  | 榊 直樹   | ビジネス実務士 <sup>®</sup><br>上級ビジネス実務士 <sup>®</sup><br>情報処理士 <sup>®</sup><br>上級情報処理士 <sup>®</sup><br>観光ビジネス実務士 |
| 西九州大学       | 佐賀県神埼市      | 向井 常博  | 園芸療法士   |
| 浦和大学短期大学部   | 埼玉県さいたま市緑区  | 大久保 秀子 | 情報処理士 <sup>®</sup>  |
| 奈良佐保短期大学    | 奈良県奈良市      | 馬越 かよ子 | ビジネス実務士 <sup>®</sup><br>情報処理士 <sup>®</sup>  |
| 西南学院大学短期大学部 | 福岡県北九州市小倉北区 | 工藤 二郎  | こども音楽療育士  |

## 5 産業界団体関係者と協会との意見交換会

去る平成27年5月13日及び10月14日に、産業界団体関係者と協会との意見交換会が実施され、意見交換においては、就職活動の解禁の時期の問題、インターンシップの成果をさらに向上させるための方策、地方における就職の実態に関して意見交換を行いました。産業界の方々から、大学・短期大学では、人間力を身につける教養教育・基礎教育をしっかりとやって欲しいという要望が出されました。職務に関する専門性は入社後に教育できるが、人間力の育成は難しいので、大学教育に期待しているとのことでした。また、社長弟子入りプロジェクトや社長と語る会について、本協会理事の関心があり、地元産業界と大学との連携を実現するためのアイデアや意見をいただきました。なお、詳細は、本協会ウェブサイトのお知らせ欄をご覧ください。

## 6 中期事業計画 [平成28(2016)年度～平成31(2019)年度]

### 新たな事業改革方針と中期事業計画の設定

中期事業計画は、直近の課題に継続して丁寧に取り組むことと同時に、協会改革の「基盤づくりのための継続事業」と「卒業生(本協会有資格者等)や社会人対象の新規事業」を重要視する中長期視点に立ち、大学・短期大学の教育転換に役に立つ「新たな事業」の開発に取り組むという方針に基づき、「中期事業目標」を設定しました。なお、今後、毎年事業の実施状況や成果の確認を行ってまいります。

### 中期事業目標と主要項目

- 1 本協会の実務教育・キャリア教育に関わる認定事業の質保証を図るために、資格認定の新評価制度を導入する。
- 2 大学教育改革に取り組む能動的学修をリードする教員の養成を継続実施する。
- 3 対話のできる産官学の関係性を構築し、相互理解のもと社会を創る人材育成の進展に取り組む。
- 4 各大学が担う、卒業生(有資格者等)の実践就業力向上のための推進システムおよび教育プログラム開発の支援に取り組み、大学教育改革に貢献する。
- 5 資格認定数の安定化と新規事業の実現化に注力する一方、中長期的見通しをもって経営基盤の安定化を図る。

## 7 卒業生等社会人就業力向上支援事業

本協会は、平成28年度から新たな「社会人教育支援事業」として、各大学が企業と連携して担う、人文社会学系の「地域で働く卒業生(卒業後1～3年)のための実践就業力向上」の教育プログラム開発・支援に取り組むこととしました。

## 8 平成28年度会員校代表者交流会

来る平成28年9月9日(金)午後1時からアルカディア市ヶ谷(私学会館)において、平成28年度「会員校代表者交流会」を開催します。

文部科学省高等教育関係担当者、産業界団体関係者をお招きし、それぞれの立場から人材育成をめぐるのパネルディスカッションのほか情報交換の場を予定しています。

## 9 実践キャリア実務士に続く秘書士・ビジネス実務士・情報処理士系資格教育課程の新たな質保証方法

本協会が授与している資格の質保証のための方策として、既にご案内のとおり、実践キャリア実務士の資格を対象に、資格教育課程の修了に加えて、ルーブリックによる評価方法を導入し、平成28年度から試行期間を設け、平成30年度から義務化しますが、これに続いて秘書士・ビジネス実務士・情報処理士各資格への導入の検討を、慎重に進めています。来る6月25日(土)開催の「会員校教育責任者・連絡責任者のための資格実務等説明会」において、ご説明する予定です。

## 10 能動的学修の教員研修リーダー講座、能動的学修の教員研究会

平成26年度から毎年実施し大変ご好評をいただいている「能動的学修の教員研修リーダー講座」を、今年も以下のとおり開催することとなりました。

また、昨年度に引き続き、講座修了者を対象に、第2回「能動的学修の教員研究会」を開催いたします。教育の質的転換をめざし授業を能動的学修へと改革・推進できる真のリーダーを育成していくための支援を継続していく予定です。

### 能動的学修の教員研修リーダー講座

#### 第1回 集合研修Ⅰ(基礎)

平成28年8月27日(土) 9:30～17:30

#### 第2回 集合研修Ⅱ(実践応用)

平成28年9月24日(土) 9:30～17:30

#### 第3回 集合研修Ⅲ(総合演習)

平成28年10月29日(土) 9:30～17:00

#### 第1回

主婦会館プラザエフ  
東京都千代田区六番町15番地  
(tel 03-3265-8111)  
JR・地下鉄「四ツ谷」駅徒歩1分

#### 第2回・第3回

アルカディア市ヶ谷(私学会館)  
東京都千代田区九段北4-2-25  
(tel 03-3261-9921)  
JR・地下鉄「市ヶ谷」駅徒歩1分

なお、参加人数には定員がございますので、申込状況等については協会事務局(電話03-5226-7288)までお問い合わせください。

## 11 平成28年度会員校教育責任者・連絡責任者のための資格実務等説明会

来る平成28年6月25日(土)午後1時から、主婦会館プラザエフにおいて、会員校教育責任者・連絡責任者のための資格実務等説明会を開催します。

説明会では、資格の質保証方法のほかご出席される皆様ご希望の事柄を中心にご説明するほか、午後3時から資格教育課程等の相談に個別に応じる予定です。

### 会場

主婦会館プラザエフ  
東京都千代田区六番町15番地 (tel 03-3265-8111)  
JR・地下鉄「四ツ谷」駅徒歩1分

## 南九州短期大学・学修成果の質保証への取り組み —到達目標達成度評価表(ループリック)の導入—

南九州短期大学 国際教養学科 柚木崎千春



### はじめに

南九州短期大学(以下、本学)は、「思いやりの心を有し、感謝を忘れず、地域社会に貢献しうる品格ある教養人を養成する」を教育理念とし、全国でも数少ない国際教養学科を有しています。継続的な地域社会の発展と人材育成に貢献すべく、少数制(アドバイザー制度)のきめ細かな指導を心がけ、創立50周年を迎えました。

単科の短期大学ながら特色ある8コースを配置し、現在、全国大学実務教育協会(以下、協会)の「秘書士<sup>®</sup>」をはじめとする8つの資格を導入しています。就職に対する支援や指導・教育は、就職課職員およびアドバイザー教員らが連携して行っており、過去10年間では宮崎県内出身者(入学者の85%程度)の殆どが地元就職するなど、地元志向型短大として地域再生・活性化の一翼を担っています。

### 「実践キャリア実務士」 必修科目での取り組み

本学では平成26年度から、協会の「実践キャリア実務士」資格を導入しており、現在、必修科目として1年次前期に「キャリア入門」、1年次(前・後期)に「キャリア開発実習」、2年次前期に、総まとめとなる「キャリア・デザイン」を配置しています。

平成26年度には「キャリア・デザイン」において、各授業の到達目標に応じたレポートを学生に課し、授業最終日には「キャリア・デザインの学修成果を今後どのように生かすか」というテーマで、まとめさせました。本学ではFDの一環として、前期および後期の終わりに年2回、学生が行う授業評価(1~5の5段階評価等)を一斉に実施していますが、「短大を卒業し、社会人として身につけておくべき内容として適切と思うか。」の問いに対して、4.89という高評価(履修者に対する回答率50%)を得ることができました。

平成27年度には協会から出されている「到達目標達成度評価表」(以下、ループリック)を準用、一部拡大して「キャリア・デザイン」の授業で記述させました。協会の記入用紙は、4つの評価要素(①働く基礎能力、②自分を知る力、③社会を知る力、④就業体験からキャリアを考える力)で2頁、「今後のキャリア」で1頁の計3頁で構成されています。これを元にして、授業内容と到達目標のリンクに留意し自己評価一覧表などに手を加え、5頁の構成としました。

評価実施後、記入状況を確認すると履修者58名全員の評価表は空白なく埋められており、学生自身の成長の気づき、学修全体の振り返りや将来への繋がりを見いだせたのではないかと感じました。また学生が行う授業評価では上記と同じ問いに対して

評価が4.80(履修者に対する回答率84%)であり、前回よりやや低いものの高評価となりました。

### 平成28年度の本格導入に向けて

『平成26年度版 子ども・若者白書』では、若者をめぐる職場環境(働き方の変化)は依然として厳しい状況にあること、重ねて職業意識・職業観・進路意識・目的意識が希薄なまま進学する者が増加していることなど、「社会的・職業的自立」に向けた課題と共に「学校から社会・職業への移行」が円滑に行われていないことが課題として挙げられています。

本学で入学時に実施している学生アンケートでは、「専門学校にはない大学ならではの学修と就職に有利な資格取得に対して」の関心が高くなっていますが、「2年後の就職がスムーズに決まるかどうかについて」の関心も高いことが分かります。しかし就職に関して具体的に、①着目するのは企業なのか業種・職種なのか、②自分がやりたいことと、できることが一致しているのか乖離しているのか、③どのようなことから始めたら良いのかなどについて自覚している学生は少数です。近く職業世界への扉が開かれるまでの限られた時間(短大生活)で、自分の役割を果たしながら、自分の能力を最大限に発揮し、「自分らしい生き方」を実現するためには何をすべきか、ということを学生自身が明確にしていかなければなりません。

ループリックの導入実践当初は、今後の目標・課題に繋がる意識を持てるかどうか、若干、不安がありました。しかし協会のループリックを準用したレポートの記述から、学生自身の成長をみることができ、「実践キャリア実務士」資格認定に関する必修科目の充実が、キャリア教育に大きく影響することを実感しました。平成28年度には、さらにループリックを活用し、キャリア教育の学修全体の振り返りと質保証に努めていきます。

### おわりに

キャリア教育にとって大切なことは学生の学びと気づきであり、本学では「自ら考え、表現できる能力、地域社会に貢献する意欲とそのために必要な知識・技能を有する」ことをディプロマポリシーに挙げています。

教員として提供できるのはキャリア形成のための「標準モデル(=型紙)」ではありませんが、提供された型紙を元に、学生自ら採寸し、主体的に自分のキャリアをデザインする術を身につけ、社会の変化をとらえ、自身の軸足をどこに置くかを決められる人材に成長してくれることが願いです。

今後もループリックを含め、問題意識を持って取り組んでまいります。

# 協会からのお知らせ

## 資格改革に係る資格の体系化

本協会の資格は全部で28存在していますが、会員校のニーズに対応して資格開発を進めてきたという背景から、全体として統一感を欠いてしまっているため、次の点を踏まえて資格の体系を作成しました。

### 全国大学実務教育協会資格の体系

一人へのまなざしをとらえた就業力・汎用的能力の修得と幅広い専門分野に対応した実務力の修得をめざす

| 資格の分類             |  |
|-------------------|--|
| 養成分野<br>教養・基礎的能力の | <b>大学と働く現場をつなぐ就業力を養う</b><br>・実践キャリア実務士※  |
|                   | <b>社会人に求められる汎用的能力を身につける</b><br>・プレゼンテーション実務士    ・ビジネス実務士    ・秘書士    ・ウェブデザイン実務士    ・情報処理士  |
| 専門的能力の養成分野        | <b>進化する産業分野に対応した実務力を身につける</b><br>・上級ビジネス実務士    ・上級ビジネス実務士(サービス実務)    ・上級秘書士    ・上級秘書士(メディカル秘書)<br>・上級情報処理士    ・観光ビジネス実務士    ・環境マネジメント実務士    ・上級環境マネジメント実務士 |
|                   | <b>国際社会に対応した実務力を身につける</b><br>・上級ビジネス実務士(国際ビジネス)    ・上級秘書士(国際秘書)    ・国際ボランティア実務士  |
|                   | <b>教育・福祉の専門分野に特化した実務力を身につける</b><br>・保育音楽療育士    ・こども音楽療育士    ・園芸療法士    ・生活園芸士    ・カウンセリング実務士  |
|                   | <b>地域社会の専門分野に特化した実務力を身につける</b><br>・社会調査アシスタント    ・社会調査実務士    ・NPO実務士    ・ボランティア実務士   |
|                   |  |

※実践キャリア実務士は、学修成果の評価方法として協会が認めるルーブリック(到達目標達成度評価票)に基づいて学生一人ひとりの就業力を評価する。

## 平成29年度新規入会及び新規教育課程認定等の申請期限

平成29年度新規入会及び新規教育課程認定等の申請期限は、平成28年7月25日(月)及び平成29年1月25日(水)です。

すでに承認を受けている教育課程の変更(科目の追加・削除、科目名の変更、協会承認の◎印の専任教員の変更等)についても、変更実施前に事前に上記提出期限までに申請する必要があります。

なお、資格必修科目のシラバスの様式が変わりましたので、申請書類を作成の際はご注意ください。申請書類の様式は、協会ウェブサイトからダウンロードできますのでご利用ください。

また、事前指導を受け付けておりますので、申請書類の作成方法や、教育課程の内容等についてご不明な点がございましたら、事務局(電話03-5226-7288)までお問い合わせください。

## 平成28年度9月期資格認定証の授与スケジュール

平成28年度9月期の資格認定証の授与スケジュールは、次のとおりです。期日厳守をお願いします。

|            |        |                              |              |        |  |
|------------|--------|------------------------------|--------------|--------|--|
| 7月1日       | 協会→会員校 | 資格認定に関する調査表提出依頼 発送           | 8月8日         | 協会→会員校 | 授与予定者リスト校正依頼等 発送                           |
| 7月15日      | 会員校→協会 | 資格認定に関する調査表 提出メ切             | 8月31日        | 会員校→協会 | 授与予定者リスト訂正連絡票、<br>単位認定教授会・資格認定証授与予定日程 提出メ切 |
| 調査表<br>受理後 | 協会→会員校 | 資格認定証申請手続について 発送             | 単位確定後        | 会員校→協会 | 資格認定単位修得確定報告書 提出                           |
| 8月1日       | 会員校→協会 | 資格認定証申請書・一括表等提出、<br>申請料納付 メ切 | 確定報告書<br>受理後 | 協会→会員校 | 資格認定証 発送                                   |
| 申請確認後      | 協会→会員校 | 申請書類等の受理について 発送              | 認定証<br>受理後   | 会員校→協会 | 資格認定証受領書 提出                                |